

# 工事要領書

**製品名：小型電気温水器**

**型 式：ES-12R**

**ES-12RT (タイマー付)**

**ES-12RX (オートミキサー付)**

**ES-12RTX (タイマー、オートミキサー付)**

本製品を安全に正しく設置・ご利用していただくために、事前に必ず本書をお読みいただき、十分に理解してください。

設置工事（試運転）後は必ず本書をご使用になる方に必ずお渡しください。

本書は、お読みになった後、いつでも使用できるように必ず所定の場所に保管してください。

## もくじ

安全上のご注意……………	1	給水・給湯配管工事……………	5～6
開 こん……………	2	電気温水器の固定……………	7
設置前のご注意……………	3	電気工事……………	7
製品寸法図……………	4	凍結防止工事……………	7
配管時必要部材(別途手配部品)…	5	設置工事後の確認……………	8～10

 株式会社 **日本イトミック**

〒130 東京都墨田区業平5-11-3 イトミックビル  
 TEL:03(3621)2121(大代表) FAX:03(3621)2130  
 サービス課 (修理依頼承り先)  
 TEL:03(3621)2161(代表) FAX:03(3621)2163

# 小型電気温水器

## 工事要領書・安全注意事項

●この工事説明書は、工事業者が正しく、安全な工事をする為に必要な指導書となるものです。工事開始前に必ずお読みください。

### 安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ据え付けてください。

ここに示した事項は **⚠ 警告** **⚠ 注意**に区分しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- 「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事完了後、試験運転を行ない異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。取扱説明書はお客様で保存して頂くよう依頼してください。

### ⚠ 警告



1. 水・油がかからない位置に電源プラグ用の専用コンセントをもうける。  
湿気や結露する場所には設置しない。  
感電や発火するおそれがあります。



アース線接続

1. アース工事を行う。  
アース工事がされないと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

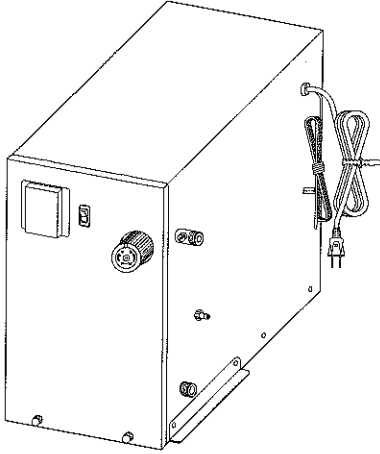
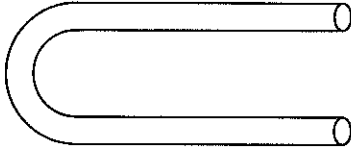

### ⚠ 注意



1. 満水にしてから通電する。  
タンクに水を入れずに通電すると過熱し、故障の原因となります。
2. 凍結予防をする。  
配管が凍結し破損すると、やけどや水漏れすることがあります。
3. 電源ブレーカー容量を確認する。  
大電気容量（電子レンジ・トースターなど）電気器具と同時使用するとブレーカーが「切」になることがあります。

# 開 こ ん

## ■ 部品の確認

	<p>本体 1ヶ (電源コード長さ 約1.7m)</p> <p>※左図はES-12RTXです。 12R、12RT、12RXは左図と 多少異なります。</p>
	<p>逃し弁用ホース 1本 <math>\phi 6 \times \phi 11</math> <math>l = 700\text{mm}</math></p>
	<p>取扱説明書 1部 工事要領書 1部 高温注意ラベル 1枚 タイマーの取扱説明書 1部 (ES-12RT, ES-12RTXの場合のみ)</p>

## 設置前のご注意

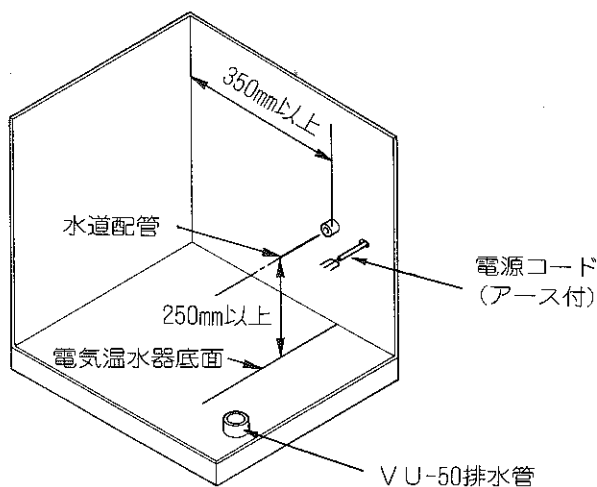
- この器具の電源はA C 100V (50/60Hz共用)です。  
A C 100V (50/60Hz共用)以外の電源では使用しないでください。
- この器具は日本水道協会認定品ですが、地域によっては各水道事業体の許可が必要ですので確認してください。
- 排水管がV U-50管になっていることおよび所定の位置にあることを確認してください。
- 水道配管および電源コード(アース付)が所定の位置にあることを確認してください。

※感電防止のため、アース工事(第3種接地工事)は必ず行ってください。

※コンセントの電気容量は15A以上必要です。

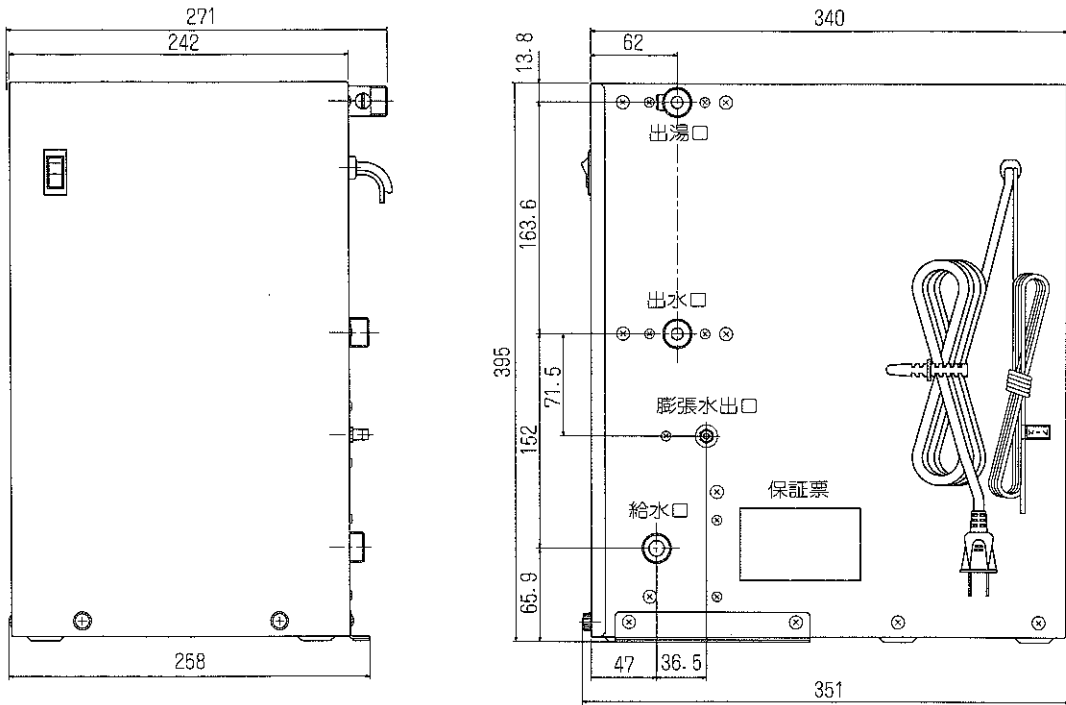
※水道配管の高さは電気温水器の底面より250mm以上あることを確認してください。

(減圧弁から水道本管までの配管内の水を抜くために必要な高さです。)

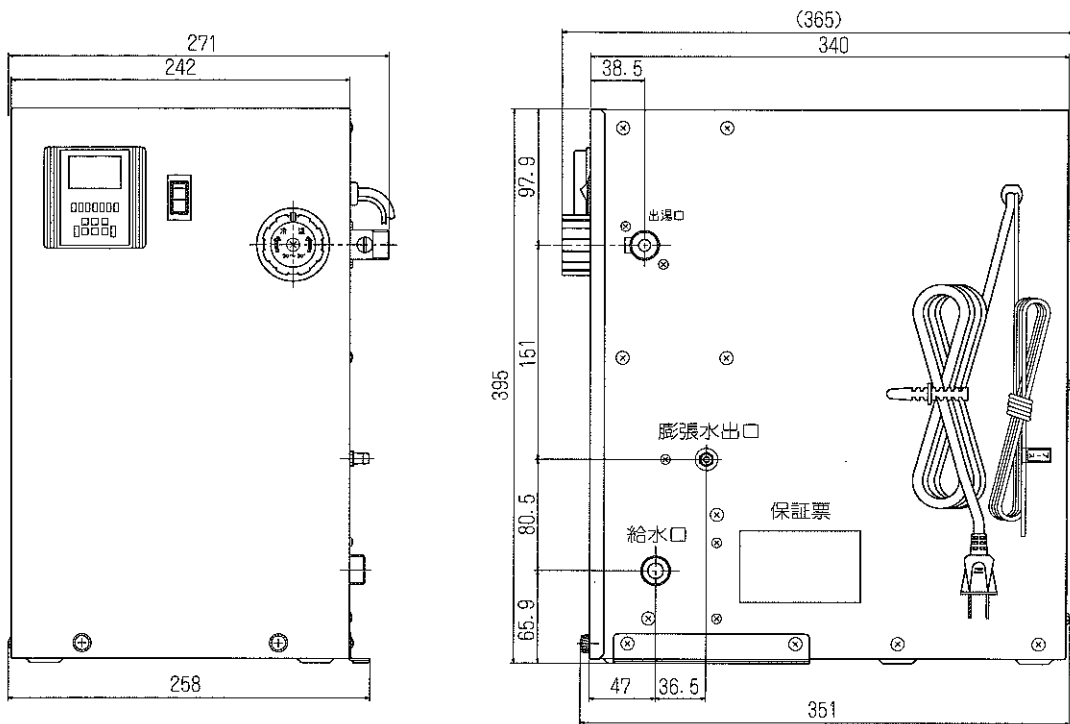


- 取付面の強度を確保し、不十分なときは補強をしてください。(電気温水器の満水時重量は、約20kgです。)

# 製品寸法図


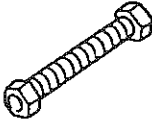




上図はES-12Rのものですが、給水口、出湯口等の位置はES-12RTも同じです。



上図はES-12RTXのものですが、給水口、膨張水出口の位置はES-12RXも同じです。

## 配管時必要部材(別途手配部品)

<p>アース付コンセント (100V-15A以上)</p>	
<p>水道用フレキ管(3本) (パッキン付) PF 1/2(13mm)</p> <p>① 水道本管の止水栓と給水口間 (壁からの水道本管用)</p> <p>② 混合水栓の給湯側と給湯口間 (混合水栓への給湯用)</p> <p>③ 混合水栓の給水側と出水口間 (混合水栓への給水用)</p>	
<p>止水栓(1個)</p>	
<p>ニップル(2個)</p> <p>(PF 1/2×PF 1/2 または PT 1/2×PF 1/2)</p> <p>※混合水栓とフレキ管接続の際、必要となる場合があります。</p>	

## 給水・給湯配管工事

### 1. 水栓の取付

- 水栓附属の取扱説明書に従い、キャビネットに取り付けてください。

### 2. 温水器専用のアース付コンセント(100V-15A以上)を設置してください。

- アース工事は必ず行ってください。(第3種接地工事)

### 3. 電気温水器の仮置き

- キャビネット内の適切な場所に電気温水器を仮置きしてください。

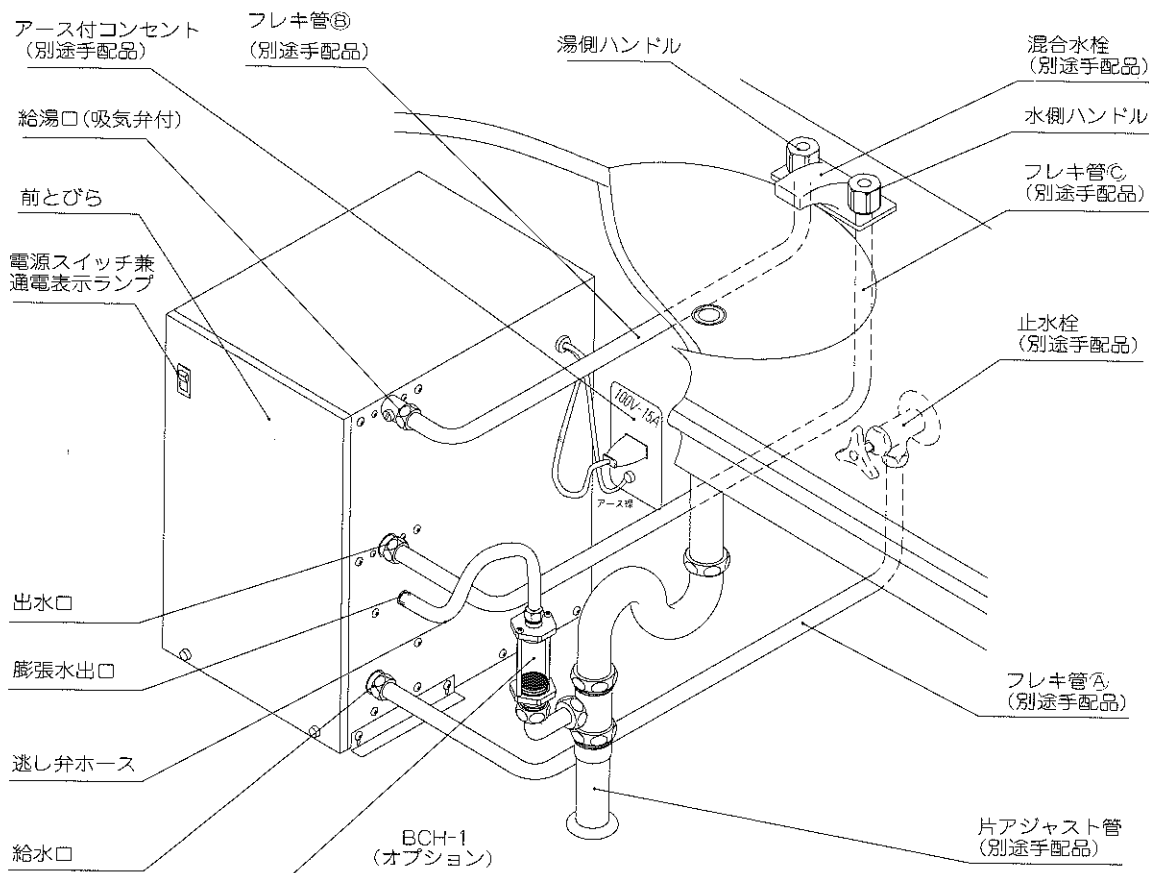
注) 周囲の附属品に当たらないようセットしてください。

#### 4. 混合水栓(給水側・給湯側および水道本管との接続)

- ① 混合水栓の給水側と温水器の出水口をフレキ管㉔(別途)で接続してください。
- ② 混合水栓の給湯側と温水器の給湯口をフレキ管㉕(別途)で接続してください。
- ③ 水道配管に止水栓を下向きに取り付け、温水器の給水口とフレキ管㉖(別途)で接続してください。

注) ES-12RX、ES-12RTXには出水口はありません。

(Sトラップに取り付ける例)



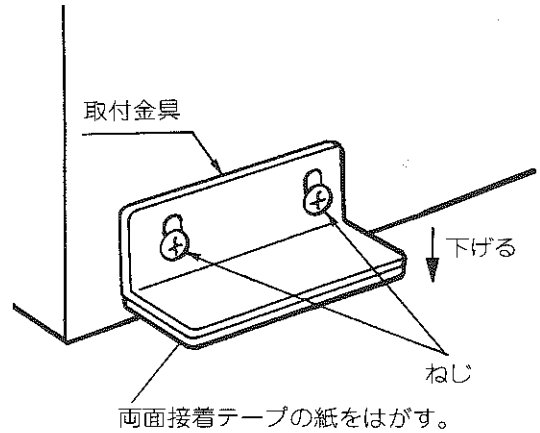
注1) 混合水栓により、フレキ管との接続方法が異なる場合があります。  
それぞれの工事要領書をご覧ください。

#### 5. 逃し弁用ホースの接続

- ① 逃し弁用ホースは必ず間接排水をしてください。
    - オプションのBCHやMTHをご使用になると簡単に処理できます。  
(BCH、MTHをご注文の際は必ずES-12R用とご指定ください。)
- 注1) 配管部分は放熱によるロスを防ぐため保温施工を行ってください。  
注2) BCHやMTHの施工方法はそれぞれの工事要領書をご覧ください。

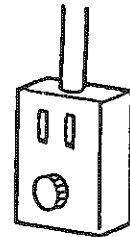
## 電気温水器の固定

- ① 周囲のものに当たらないことを確認してください。  
(シャワー支持棒などを上下させて確認する)
- ② 取付金具のねじ(2本)を緩めて、取付金具を下げ、キャビネット底板に接着してください。
- ③ 取付金具のねじ(2本)を締めて、電気温水器を固定してください。



## 電気工事

- ① 電気温水器の電源スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- ② アース付コンセントのアース接続部に電気温水器をアースコード(緑色ケーブル)を接続してください。
- ③ コンセントに電気温水器の電源プラグを差し込んでください。  
(空焚きの恐れがありますので必ずタンクを満水にしてから差し込んでください。)



アース付コンセント

## 凍結防止工事

- 室温が0℃以下になると考えられるところで使用する場合は、必ず給水・給湯配管に凍結防止工事を行ってください。工事には、給水管と給湯管に水道凍結防止ヒーターを取り付けてください。

※結露・湯温低下を防ぐためにも保温は大切です。



# 設置工事後の確認

## 1. 設置状態の確認

- 電気温水器はぐらぐらしたりせず、しっかり据付けられていますか。
- アース線は確実に接続されていますか。
- 電気温水器と各配管部材は確実に締めつけられていますか。
- フレキ管は水抜きをしたときに、途中で留ったりしないようになっていますか。
- シャワー支持棒などを上下させてもどこにも当たっていないことを確認してください。

## 2. 水漏れ検査

- ① 混合水栓の水側ハンドル、湯側ハンドルを開いてください。
- ② 止水栓を開いて通水してください。
- ③ 蛇口から水が出たら水側ハンドルを閉めてください。
- ④ 電気温水器のタンクに水が留って、蛇口から再度水が出たら、湯側ハンドルを閉め、配管接続部から水漏れがないか確かめてください。

## 3. 通電確認（必ずタンクを満水にしてから行ってください）

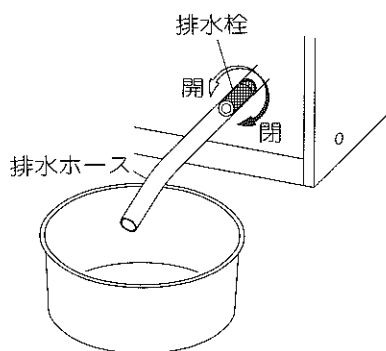
- ① 電気温水器の電源スイッチを『入』にして、通電表示ランプが点灯することを確認してください。

## 4. 水抜きの方法

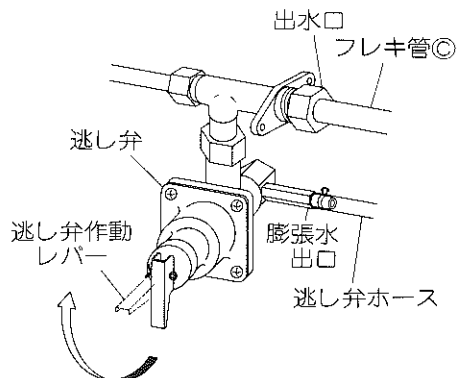
- お客様がすぐご使用にならない場合で、特に寒冷地等で凍結の恐れがある場合には、必ず水抜きを行ってください。

- ① 電気温水器の電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 混合水栓の給水・給湯ハンドルを開けて、約10分間湯を流し続けタンク内の湯を使い切ってください。  
(お湯が残っているとやけどする可能性があります。)

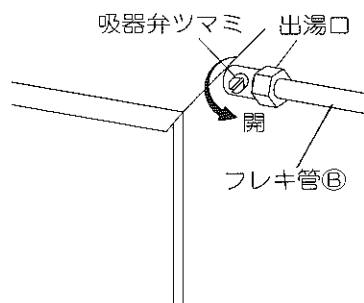
- ③ 止水栓を閉めてください。
- ④ 前面の樹脂ねじを2本はずして前とびらを開けてください。
- ⑤ 前とびらの裏側についているビニールホースを排水栓に差し込み洗面器などの容器で受けて、排水栓つまみを開けてください。



- ⑥ 逃し弁作動レバーを上げ、逃し弁内の排水をしてください。
- ⑦ 給湯口の吸気弁を開けてください。  
(湯が残っている場合に、熱湯が出る可能性がありますので、注意しながらゆっくりと約2.5回ゆるめてください。)



注) 吸気栓を紛失しないように注意してください。



- 給水は、5 ページの「タンクの給水」にしたがって行ってください。
- 給水後は水漏れのないことを確認してから、点検とびらを取り付けて電源スイッチを「入」にしてください。
- ビニールホースはご使用後、前とびらの裏側にセロテープ等で貼っておくと次回排水するときに便利です。

## 5. 水抜き終了後

- ① 混合水栓の水側・湯側ハンドルを閉めてください。
- ② ビニールホースをはずし、排水栓をしっかり閉めてください。
- ③ 逃し弁レバーを元通りに下げてください。
- ④ 吸気栓を閉めてください。
- ⑤ 前とびらを取り付けてください。

### お客様への説明

- 取扱説明書によって、使用方法を説明してください。  
特に「使用方法」「使用上の注意」をよく説明してください。

# 株式会社 日本イトミック

営業本部

〒130 東京都墨田区業平5-11-3 イトミックビル  
 TEL:03(3621)2121(大代表) FAX:03(3621)2130  
 サービス課  
 TEL:03(3621)2161(代表) FAX:03(3621)2163

本社工場

〒143 東京都大田区城南島4-6-8  
 TEL:03(3799)7311(代表) FAX:03(3799)7310

## 〈地区販売会社〉

北海道地区	●(株)北海道イトミック	: 〒063 札幌市西区二十四軒1条5-1(ラポール24軒2号館)	TEL011(615)6681(代)	FAX011(615)7004
東北・新潟地区	●(株)東北イトミック	: 〒983 仙台市宮城野区宮城野1-6-8(ミキハイツ)	TEL022(257)3131(代)	FAX022(257)3133
中部・北陸地区	●(株)中部イトミック	: 〒460 名古屋市中区丸ノ内2-16-30(丸の内魚住ビル)	TEL052(222)2561(代)	FAX052(222)2559
近畿地区	●(株)関西イトミック(株)	: 〒541 大阪市中央区平野町3-5-12(東海ビル)	TEL 06(226)0800(代)	FAX 06(226)0802
中国・四国地区	●(株)中国イトミック	: 〒730 広島市中区大手町1-7-12(徳永ビル)	TEL082(240)1361(代)	FAX082(240)1363
九州地区	●(株)九州イトミック	: 〒812 福岡市博多区東光1-3-10(福岡ホリヤビル)	TEL092(481)3911(代)	FAX092(481)3930
沖縄地区	●(有)不二宮工業	: 〒901-23 沖縄県北中城村字熱田1985	TEL098(935)5755(代)	FAX098(935)5771

2025.12.12